

す。将校からもらった白パンは美味しかったな。

そんなわけで樺太には終戦後もしばらくいました。ロシア語も結構話せたんですよ。子どもだったから会話するために単語はすぐ覚ええんですね。

藤井 先生が医師になられたのも、やはりお父様の影響ですか？

水元 小さいころから父親の診療をみていたからね。僕は大学入学後すぐに運転免許を取りましたので、

夏休みなどで帰省した

時には、父

の代わりに

運転して往

診によくつ

いていきま

した。レセ

プトの作成



ゴルフは長年の趣味。シングルのころの雄姿？

も手伝ったな。

藤井 学生時代からレセプトってすごい！

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

藤井 先生が医師になられたのも、やはりお父様の影響ですか？

水元 小さいころから父親の診療をみていたからね。僕は大学入学後すぐに運転免許を取りましたので、

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

夏休みなどで帰省した時には、父の代わりに運転して往診によくついていきました。レセプトの作成も手伝ったな。

●息子と一緒に手術を執刀

藤井 ご息子の久修君が後を継がれて、先生にもやっとお時間ができてきた頃でしょうか。息子さんはすごくオペのセンスがいいし、臨床も上手ですね。

水元 そうですかね(笑)。彼が大学の時、うちにも出張に来ていましたから、一緒に手術したこともあるんですよ。

藤井 親子で手術するとなると、やはり普通の人に教えるより厳しくなりますか？

水元 そうですね。ところが息子が腕を上げてくると「親父の手術は汚い」とか、「雑だ」とかっ

て言うんです(笑)。今はちよっと出血してもすぐ止血するでしょ、僕はそんなのしませんでした。手術時

間を短くすることに重点を置いていましたから。「止血しなくても自然に止まるからいい」って言っても、「ダメだ」ってね。

●途上国に学校を造りたい

水元 入会しているロータリークラブで長年環境問題に取り組んできました。市民向けのコンサートや環境フォーラムを開いたり、あとは「ゼロゴミ」推進とか。

藤井 「ゼロゴミ」というのは？

水元 苫小牧の郵便番号〇五三をもじって「ゼロゴミ」。これは地元の中学生から募集した環境に関する標語の中にあつた「苫小牧はゼロゴミ(〇五三)の街」からいただきました。今では子ども合唱団が歌う「ゼロゴミの歌」っていうのがあつて、ゴミ回収車はその曲を鳴らしながら街中を回っています。

また、発展途上の東南アジアなどでは学校の数が少ないために、学校に通えない子どもたちがたくさんいます。文化を発展させるためには識字率の向上が不可欠です。三十万円くらいで学校が造れるので、この活動を継続して学校建設を実現したいですね。

インタビューを終えて

外科系医師の宿命、
メスを置く日まで精進します

常任理事

藤井 美穂

先生は私の大先輩で、教えていただいたことも多く、よく存じ上げているだけに何を伺おうか迷いました。

先生がメスを置かれたのは六十七歳の時。私も先生を見習ってさらに頑張って、メスを置く日が来たら、先生ご夫妻のようにゆったりと客船で海外旅行を楽しみたいと思います。

●忘れられない初めての帝王切開

藤井 水元先生は札幌医大で、最初に腹膜外帝王切開を行い、不妊症外来を開設されました。お腹の中が癒着していて腹壁を開けても腹内に入っていけない妊婦さんに対する術式は画期的でした。

水元 最初といっても昔の術式ですが。藤井先生は札幌医大初の女性産婦人科医でしたね。

藤井 私も先日このような症例を担当したのですが、どうアプローチしようかと思つた時に水元先生のことを思い出しながら、先生ならこうやるに違いないと考えて執刀しました。



生年月日 昭和11年10月7日
出身地 樺太庁
出身大学 岩手医科大学医学部
昭和38年卒 産婦人科
好きな言葉 「上善如水」「和光同塵」

水元 膀胱の辺りから腹内に入って、腹膜と膀胱を圧排すると子宮が出てくるんですね。

藤井 先生が産婦人科を選ばれた理由は？

水元 僕は大学時代、野球部だったので、部活の先輩が産婦人科に多かつたのと、インターンで回っている時に先輩から誘われて。

藤井 当時、産婦人科の医局員は何人？

水元 四十人くらいでしょうか。メンバーの多くは地方の公立病院などに出張していましたが、実際大学に残っている人数はそんなに多くありませんでした。

釧路市立総合病院への出張で経験した初めての帝王切開は今でも忘れられません。大晦日です先生方が帰省しているときに逆子のお産があつて、私一人で帝王切開しなければならなかつたのですが、見たことはあつてもやつたことがないから丸山俊蔵先生に電話でお願ひしたんです。二つ返事で駆けつけてくれたのですが、「僕がそばについてあげるから、君がやりなさい」って（笑）。子宮外妊娠など手術の経験がありました。が、とにかく必死でした。

藤井 先輩医師が見守ってくれているだけで全然安心感が違いますよね。



苫小牧市医師会の野球チームMEDOCS（メドックス）で監督を務める。ピンチヒッターとして打席に立つことも

●学生時代、往診する父に同行、レセプト作成も経験

水元 私は幼少期を樺太で過ごし、小学校四年生の時に終戦を迎え、昭和二十一年に北海道に引き揚げてきました。

藤井 樺太時代の思い出は？

水元 父が開業医だったので、終戦後にロシア兵の将校が診療を受けにきていました。進駐してきたロシア軍には軍医がいなかつたよう